

貴組織名：ITCながさき

1. 中小企業金融公庫との連携実績（～2007年度まで）

・連携支店名：中小企業金融公庫長崎支店

1) 研修開催における連携

年・月	スポンサー	主催機関名	参加者数	内、有料契約社数
2006.1	IT 経営応援隊事業	長崎ソフトウェアセンター	8	0
2006.11	IT 経営応援隊事業	長崎ソフトウェアセンター	12	0
-	-	-	-	-

< 成果に関する組織としての評価や具体的な成功企業についてのコメント >

- ・ ITCながさきとしては、経営者研修会の中でコンサル先を見つけ出すスキルの習得
- ・ アフターコンサルの際、研修内容を社内向けに実施しているという意見が多かった。
- ・ 会社全体を見直すとIT以外での改革も多く、優先順位がそちらに向けた企業もある。
- ・ 地域同友会での紹介等の話しもあった。（研修会自体の評価が高い）

2) その他の連携（あれば）

< 連携の内容について >

- ・ IT 経営応援隊事業(事例発表会)に対する後援と集客支援（長崎市、佐世保市）
- ・ 長崎 SC 主催で ITC が講師の研修に中小公庫職員が参加（知識交流）

3) 中小企業金融公庫側の対応と評価について

< 中小企業金融公庫側の連携先キーマンと窓口担当者 及び評価（想像） >

窓口：調査役 町田 佳弘氏

評価：集客は厳しい（公庫ユーザ会の事業と被る）、効果があまり見えない。

4) 担当 ITC と役割

ITC 名	インストラクター（メイン or サブ）	役割（コンサル担当等）
水口 和美	メイン	コンサル
平野 真吾	サブ	コンサル
坂下 正洋	サブ	コンサル

2.2008 年度以降の中小企業金融公庫との連携計画について

1) 研修開催における連携の計画・目標

< 具体的な計画・目標があれば >

- ・新規計画なし

長崎地区においては、事務局の長崎ソフトウェアセンターが解散して活動自体が停滞し、新たなアプローチも出来ない状況。

2) その他の連携

< 具体的な計画があれば >

- ・中小企業金融公庫に捉われない、地域事情を汲んだ ” 西九州モデル ” を計画して、現在実行している。(活動組織として、I T C 西九州を発足)
- ・金融連携のスキームで、大手事務機系ベンダーとの連携モデルを構築(佐賀県、長崎県で現在実施、福岡県、熊本県も準備中)

3.中小公庫との連携をより進めるために

1) 貴組織が考える「中小公庫との理想の連携の姿 (To Be モデル) 」とは？

< 具体的にコメントをお願いします >

- ・西九州では、中小公庫との連携は無理。

2) 実現のための重要成功要因 (CSF) と K P I は何ですか？

< 具体的にコメントをお願いします >

- ・各関係機関との連携 (W i n - W i n の連携)
- ・ K P I = 1 セミナーで 1 ユーザ確保 (商工会議所単位で開催)

3) 貴組織が抱える問題点、他の組織や協会への要望等

- ・信頼できるパートナー (独立系 I T C)
- ・ I T C の信用を下げる動きがある。

以上